

市民の皆様へ

流山市消防長 北野 浩一郎

火災の予防について(お願い)

今年に入り令和3年2月3日(水)現在、市内で8件の火災が発生し(建物火災4件、車両火災2件、その他火災2件)、そのうち2名の尊い命が失われました。

火災件数は前年の同時期と比べると、5件増加しています。

緊急事態宣言が延長され自宅で過ごす時間が長くなり、暖房機器や調理機器を使用する機会が増えることから、裏面の火災を予防するチェックシートを確認していただき、より一層火災に対して注意をお願いします。

<問い合わせ先>

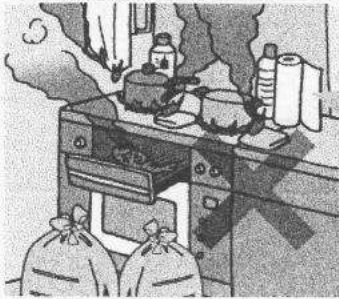
予防課調査指導係

担当 馬場・遠藤・瀬能

外線 04-7158-0270

# 家庭に潜む火災の原因

台所	<input type="checkbox"/>	ガスのホースは、硬くなったりヒビはありませんか？
	<input type="checkbox"/>	ガスコンロの周りに燃えやすい物を置いていませんか？
	<input type="checkbox"/>	ガスコンロは正常に点きますか？
	<input type="checkbox"/>	火を使用している時は絶対にそばをはなれない。



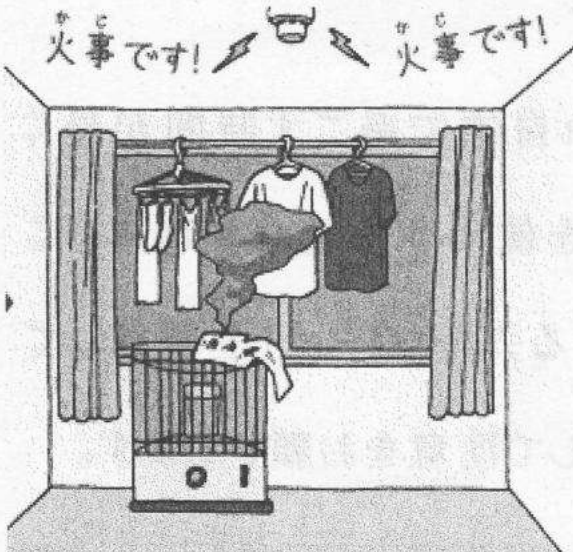
こんろの周りには燃えやすい物を置かないようにしましょう。



たこ足配線はしない。コードは束ねて使わない。

電気器具	<input type="checkbox"/>	1つのコンセントに沢山のプラグを差し込んでいませんか？
	<input type="checkbox"/>	コンセントに差したプラグにホコリが溜まっていませんか？
	<input type="checkbox"/>	器具のコードを家具などで踏みつけていませんか？

ストーブ	<input type="checkbox"/>	暖房器具は、燃えやすい物から離して使っていますか？
	<input type="checkbox"/>	灯油を使う暖房器具は、使用を止めて給油をしていますか？
	<input type="checkbox"/>	暖房器具の上に洗濯物を干していませんか？



たばこ	<input type="checkbox"/>	寝たばこは絶対にしない。
	<input type="checkbox"/>	灰皿には、水を入れて使っていますか？
	<input type="checkbox"/>	吸殻は、一度水に浸してから捨てていますか？

《東部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)37号》

きずな

# 東部ネット「絆」

東部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)には、介護や健康、権利を守ること等の、高齢の皆様のご相談が寄せられています。今回の「絆」では実際にあった相談の一部を紹介します。「こんなことが相談できるんだ!」と知って頂き、一人で悩まず、お気軽にご相談下さい。

## 【こんなご相談がありました】



### 新型コロナウイルスに関する相談

- Q1** 妻が体操教室に通っていたが、コロナウィルス感染対策のために活動が中止になってしまいました。他に体操等の運動ができる場所はありますか。
- A1** 介護保険サービスに体操等の運動ができる施設(デイサービス・通所リハビリ)があること、地域で行っている体操教室等の情報をお伝えします。また、自宅で行う運動についてアドバイスします。

### 退院に関する相談

- Q3** 独居の母が腰椎圧迫骨折で入院しています。退院後の母の生活が心配です。どこに相談すればいいですか。
- A3** 入院中の場合は病院の相談員が相談窓口になります。病院の相談員と東部高齢者なんでも相談室が連携して介護保険サービスや地域の社会資源等を調整し、退院後の生活に不安がある方でも安心して地域で生活できるよう支援します。

### 認知症に関する相談

- Q2** 母が、最近物忘れや話したことを覚えていないことが増えています。流山市内に認知症の相談ができる病院はありますか。
- A2** 流山市内に認知症の相談ができる病院があります。認知症対応の病院や認知症についてまとめた「認知症安心ガイドブック」という冊子もありますので、ご活用ください。また、かかりつけの病院に相談し、認知症専門外来に繋いでもらうこともできます。

### 権利擁護に関する相談

- Q4** 遠方の息子より相談。母が亡くなり、父の物忘れがひどくなってきました。介護サービスを医師から勧められています。また、通帳やキャッシュカードを度々失くし、お金の管理ができなくなり、不安です。何か方法はありませんか。
- A4** 認知症等で判断能力が十分でない方に、後見人という本人に代わり財産管理、医療や介護サービスの契約、権利を守る援助者をつける「成年後見制度」があります。地域包括支援センターでは、成年後見制度の利用に向けての相談、法律専門家の紹介などを行います。

**東部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)** (東部中・八木中・おおたかの森中学校区の一部エリア)



電話: 04-7148-5665 Fax: 04-7141-2280

住所: 流山市野々下 2-488-5 (あざみ苑内)

(担当職員: 崎尾・西田・菅野・山口・磯野・志水)

平日 8:30~17:00

土曜 8:30~12:00

## 東部地域近隣の医療機関のご紹介 vol.24

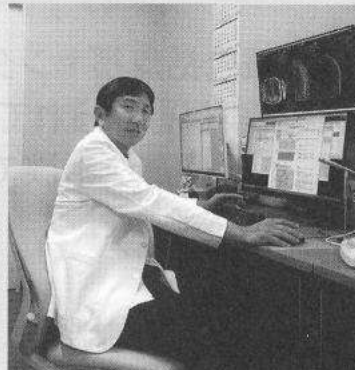


### 松戸整形外科おおたかの森クリニック

住 所：流山市おおたかの森北1-12-1 OKTプラザ2F  
 電 話：04-7128-9891  
 診療科目：整形外科、リハビリテーション科  
 受付時間：平日 8：30～12：00 14：00～17：00  
 土曜 8：30～12：00 14：00～16：30  
 休 診 日：木曜、日曜、祝日、年末年始  
 ※その他、詳細は直接お問合せ下さい。



令和2年5月開院



岩本 靖彦院長



待合室

いわもと やすひこ

### 岩本 靖彦院長より地域の皆さんへ

当院は、地域の皆様方の多様な運動疾患に対して専門的に対応できる整形外科クリニックです。各分野の専門医が診療を担当し、MRI検査などを参考にして精度の高い診断をいたします。治療としては、投薬、注射、ブロック療法などに加え、質の高いリハビリテーションを提供することで、皆様のお役に立てるよう努力しております。最近、いわゆる「巣ごもり骨折/ステイホーム骨折」をされる方が中学生や高校生を含め増加しています。原因は、外出自粛で運動や日光浴が不足し筋力や骨密度が低下したためです。お心当たりのある方はお気軽にご来院ください。

## 活動報告

### 「あじさい広場～認知症の方を支える介護者のつどい～」

令和2年10月は「訪問看護の利用方法について」12月は「認知症の方の対応方法・施設について」講師の方をお呼びし、ミニ講座・座談会を開催いたしました。10月は訪問看護ステーション管理者により、具体的なサービス内容や、訪問看護が介護者にとって身近に利用できるサービスであるとお話がありました。12月はグループホーム（認知症対応型共同生活介護）管理者により、施設を選ぶポイントや施設に入るタイミング等を話していただき、参加者同士で意見交換する様子も見られました。



### 認知症とともに暮らすまちづくりの会

新型コロナウイルスの影響があり、今年度は令和2年10月と令和3年2月の開催となります。10月の回では、5名の方に参加していただきました。今回は、向小金クリニック大津医師により、認知症の方の理解、記憶の仕組みについてお話しをいただきました。



### 認知症サポーター養成講座

令和2年9月に市民対象、11月に小学生対象の2回の開催となりました。9月は初の手話通訳を取り入れての開催で、聴覚障害がある方にも参加しやすい構成で、理解を深めていただくことができました。11月はDVDや紙芝居を使用して楽しく学べたとのお声をいただきました。



※新型コロナウイルス感染対策を徹底して行っています！！

編集後記 今回もお読みいただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。